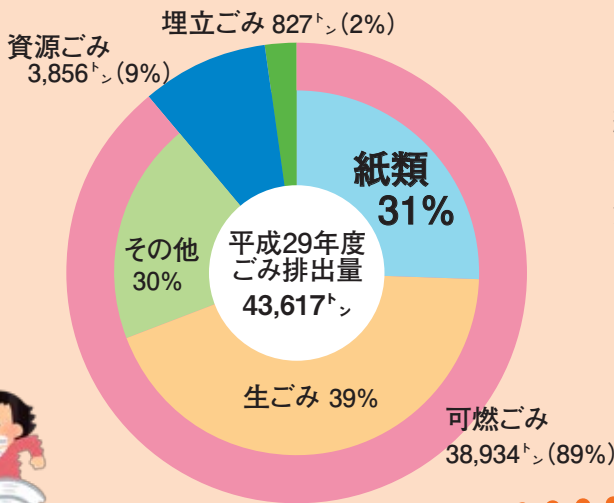


ごみを資源に変える 今すぐ実践 雑がみ回収大作戦

問ごみ対策課（クリーンセンター内） ☎ 0538-37-4812 FAX 0538-36-9797

磐田市の可燃ごみの約3分の1が「紙類」です



平成29年度の市内のごみ排出量4万3617トンのうち約9割が可燃ごみです。可燃ごみの約3割は紙類で、紙類にはリサイクルできる雑がみが多く含まれています。雑がみの分別、リサイクルをすることでごみの減量を進めることができます。

今回は身近な資源「紙」について考え、各家庭でのごみの減量を実践してみましょう。

作戦開始

雑がみって？

普段可燃ごみとして捨てられてしまいがちな新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外のリサイクルできる紙類のこと

○ 雑がみの例

- ◎菓子箱・ティッシュの箱
(ビニール部分は取り除く)
- ◎紙袋・包装紙
(紙以外の取っ手は取り除く)
- ◎その他：チラシ、パンフレット、トイレットペーパー・ラップの芯など
- ◎はがき・封筒・手紙
(圧着はがきは除く)
- ◎カレンダー・ポスター
(留め金具は取り除く)



× リサイクルできない紙類

写真、写真プリント紙、レシートなど(感熱紙)、配送伝票・領収書など(カーボン紙)、紙コップ・紙皿・紙製のアイスクリーム容器など(防水加工された紙)、食品や油などが付いた汚れた紙、臭いの付いた紙(洗剤・線香の箱)など

※リサイクルに支障があるため、可燃ごみに出してください

わかってるけど
どうしたら
いいの？



富士見幼稚園 父母の会

副会長・資源回収委員代表

山田 真弓 さん



富士見幼稚園父母の会では、以前から資源回収に取り組んでいます。現在は12人の委員が年7回、回収活動をしています。毎年4月の総会で映像や写真を見せて活動の報告や説明と回収の協力を呼び掛けています。地域の皆さんにも回覧で回収日をお知らせして協力をお願いします。

参加で変わった意識

正直に言うと、以前は活動をあまり気にしていませんでした。でも、役員として主体的に関わるようになり、自分はもちろん他の委員たちも大きく意識が変わりました。分別をしつかりするため、商品についているマークや材質を気にするようになりました。

子どもたちのために

資源回収で得られたお金は、園の子どもたちの遠足やお誕生会などのお菓子の代に使っています。子どもたちもお菓子の紙や缶がお菓子になることがわかると分別のお手伝いをしてくれます。回収日には親と一緒に子どもも荷物を運んで来る姿が見られます。より多くの家庭で、子どもと一緒に資源について考えたり話したりする時間が少しでも増えればいいと思います。これからも工夫や改善を重ねながら資源回収を続けていきたいです。



意外と簡単 やってみよう！

▼雑がみの出し方

- ・紙袋に入れて出す
- ・雑誌に挟んで紙ひもで縛る

ごみ箱の横にいろいろな紙袋を置いて、入れていくだけ。ごみを捨てるときに分ければいいから簡単♪



出してみよう

▼雑がみを回収しているところ

減量成功

- ①リサイクルステーション（クリーンセンター内 ほか）
 - ②地域の資源集団回収（団体によって回収品目が違います。日程などは掲載の了承を得た団体のみ市ホームページに掲載しています）
 - ③古紙リサイクルステーション
- ※詳細は家庭ごみ収集カレンダーの裏面をご覧ください

▼資源回収始めてみませんか

市では市内で活動する団体（自治会・PTA・子ども会・その他営利を目的としない団体）による古紙などの資源回収活動を支援しています。回収量1キログラムにつき4円を奨励金として団体へ交付します。補助対象品目など詳しくは、市ホームページ（ページ番号…1001468）をご覧ください。ごみ対策課へお問い合わせください。

